

宮西校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成22年8月3日(火) 19時～20時35分
場 所 口屋跡記念公民館
参加者数 男 53人 女 13人 合計 66人



1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名 地域福祉について

討議内容

(質問)

私は今年初めて自治会長をやっておりますが、独居、同居に限らず、高齢になり、今までできていたことができなくなり、生活のしずらさを感じるようになったとき、どこに連絡したり、相談したらいいのですか。

(回答 市長)

市内の社会福祉施設等に相談窓口を開いておりますので、気軽に相談していただけたらと思います。先ほどの説明にもありましたが、宮西校区の地域相談窓口は新居浜医師会になっております。こんなこととは思わず、何でも相談してください。また、身近なところでは民生児童委員に聞くこともできます。

(質問)

先ほどの説明にもありましたが、これからは共助が大切であるということですが、見守り推進員についてどのような制度でどんな活動をしているのか教えてください。

(回答 市長)

見守り推進員につきましては、県が音頭を取ってできた制度で、民生児童委員3人に対して1人の割合で始まりました。現在は新居浜市単独で実施しておりますが、週に1回あるいは月に1回という割合で独居高齢者の方への訪問等を行っています。この件に関しましては他の校区からも高齢者20人に1人では少ないとか、月1,000円の報酬がガソリン代や電話代ということで支払われておりますが、少ないとか65歳の方のところへ70歳の方が訪問するとかの課題が出ておりますので、全市的に再度見直すということにしております。

(質問)

介護保険のサービスでは、どんなことができ、自己負担はどのくらいかかるのか説明してほしい。

(説明 地域包括支援センター)

サービスの内容や自己負担額、利用限度額等について、要介護2の方と要介護3の方の場合を例として、事前に配布したパンフレットを使って具体的に説明した。

2. 地域課題

課題名 道路舗装について

討議内容

(質問1)

口屋跡記念公民館北側道路について、東から順次舗装整備をしていただいているが、公民館周辺はへこみがあり、雨水がたまる状況のため、早急に整備をしていただきたい。

(質問2)

排水路の清掃については、地元自治会等で行っているが、水を含んだ汚泥のため、いったん水を切るためと従事者が高齢者であるためダンプへの積み込みが大変であることから土のう袋につめている。廃棄場所が菊本に変更になったことから、土のう袋のまま捨てることができなくなった。何か良い方法を教えてほしい。

(質問3)

平成16年にも多大に被害があったが、銅夢にはまから三井住友銀行、敷島通りに抜ける道等では、大雨のたびに浸水する家屋が多い。この地域における雨水に対する全体計画の見直しや今後の対策等について説明していただきたい。

(回答 市長)

(1) 道路舗装についてですが、ご要望の箇所について現地確認を行いました結果、舗装の穴空き等は無く、通行の安全に支障があるものではありませんが、一部みずたまりができておりますので、部分補修で対応させていただきます。

(2) 排水路の清掃時に出る土砂についてですが、最終処分場が菊本沖に変わったことにより、海中に沈むものしか捨てられないことになっております。場所によっては直接ダンプに詰め込むところもあるようですが、丁寧に作業されているのですね。この件につきましては、後日担当に説明させますので、ご理解をいただきたいと思っております。

(3) 雨水排水についてですが、現在、泉池町から中須賀町1、2丁目の約22ヘクタールを対象としました中央雨水ポンプ場へ集水する雨水計画の見直しにつきまして、設計コンサルタントに業務委託を行ったところです。この業務におきまして、既存排水路の改修だけでなく、新たに雨水施設を整備する計画につきましても併せて検討を行いまして、効率よく雨水を排水できる基本計画を今年度2月末までに作成することとなっております。

その後、詳細な設計を行いまして、順次工事に着手し整備を進めますのでご理解ご協力をお願いいたします。